

平成27年度 後期授業評価（3年）の結果について

平成28年3月1日
宮城県志津川高等学校 教務部

本校では、前期と後期の年2回、授業をよりよく改善していくために、教員の授業について下記の①～⑭項目に関し生徒による授業評価を行っております。
今年度の後期授業評価について、結果・分析がまとまりましたので報告いたします。

1 アンケートの実施結果（教科別）

実施日 平成28年1月15日～1月29日

* 各項目について

【そう思う＝4 ややそう思う＝3 あまりそう思わない＝2 そう思わない＝1】と点数化し、それを平均したものが以下に示される数値です。その際、平均値は2.5になります。

| 『あなた自身に関する質問事項』 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 | 保体 | 家庭 | 芸術 | 商業 | 平均 | 昨年度（後期） の数値 |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------|
| ①先生の話を理解しようと努めている。 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.5 | 3.5 |
| ②分からないことは、誰か（先生や友達）に質問するようにしている。 | 3.3 | 3.0 | 3.3 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.2 |
| ③予習をして授業に臨んでいる。*体育、音楽、美術については回答せず、保体は保健のみの数値。 | 2.3 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 2.5 | - | 2.3 | - | 2.2 | 2.3 | 2.2 |
| ④復習をして授業に臨んでいる。*体育、音楽、美術については回答せず、保体は保健のみの数値。 | 2.4 | 2.3 | 2.5 | 2.3 | 2.5 | - | 2.3 | - | 2.3 | 2.4 | 2.4 |
| ⑤提出物の提出期限を守っている。 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.5 |

| 『先生や授業に関する質問事項』 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 | 保体 | 家庭 | 芸術 | 商業 | 平均 | 昨年度（後期） の数値 |
|-----------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------|
| ⑥先生は十分な準備をしている。 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.4 |
| ⑦授業では大切なポイントが示されている。 | 3.7 | 3.7 | 3.8 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.7 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.4 |
| ⑧授業の進む速さは適切である。 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.3 | 3.5 | 3.3 |
| ⑨先生の指示がよくわかる。 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.2 | 3.5 | 3.3 |
| ⑩板書が見やすい。*体育については回答せず、保体は保健のみの数値。 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.4 | - | 3.6 | 3.6 | 3.3 | 3.5 | 3.3 |
| ⑪先生は生徒の反応を大事にしている。 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 3.7 | 3.7 | 3.4 | 3.5 | 3.4 |
| ⑫使用している教科書や副教材は学習に役立っている。 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.5 | 3.3 |
| ⑬定期考査（または実技試験）の内容は、授業に沿ったものである。 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.4 |
| ⑭授業を通して得たものは多い。 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.4 |

⑮授業をよりよくするためにどうしたらよいか、意見や要望があったら書きなさい。

- ・プリントよりノートが良い。（理科）
- ・化学の時間が少なかった。（理科）
- ・調理実習が楽しかった。（家庭科）
- ・ビデオ鑑賞がすごく楽しかった。（音楽）

2 アンケートの結果分析

【全体分析】

「あなた自身に関する質問事項」、「先生や授業に関する質問事項」ともに、ほぼすべての項目で昨年度の値を上回る結果となった。「あなた自身に関する質問事項」では、昨年度課題として挙げられていた予習の項目において若干ではあるが数値が上昇した。生徒の授業に臨む意識が変化したこと、また、教員側が予習・復習を意識した授業改善に取り組んだことが結果としてあらわれたものと考えられる。だが、復習の項目については昨年度と変わっておらず、数値だけを見てはまだまだ低い結果となっている。予習・復習の習慣を身に付けることができるよう、次年度も引き続き授業の改善に努めていきたい。

【教科ごと】（項目1. データの分析、項目2. 次年度の授業に向けての対策）

| | | |
|----|---|--|
| 国語 | 1 | あなた自身に関する質問項目では、昨年度を下回る結果となった。特に質問③④の数値が低く、予習・復習の習慣が身につけている生徒が少ないものと考えられる。 |
| | 2 | 語句の意味を調べてこさせたり、小テストを単元ごとに行ったりするなど、生徒が予習・復習の習慣を身に付けることができるような工夫をしていきたい。 |
| 社会 | 1 | 昨年度に比べ、体的には平均値より高くなっているが、分からないままにしている生徒や、予習・復習が不十分な生徒が依然として多い。 |
| | 2 | 身近な問題や時事問題を取り上げ関心を高めるとともに、課題や小テストを継続的に実施したり、前時の振り返りや次時の予告などを通して予習・復習の必要性を実感させていきたい。また、机間指導や発問等を通し、分からない点をそのままにしておかない指導を工夫していきたい。 |
| 数学 | 1 | あなた自身に関する質問事項では、前期と比較し数値が下回っていた。先生や授業に関する項目事項では、前期よりも数値が上回っていた。 |
| | 2 | 学んでいることがどのように生かされているのかなど、学ぶ意義を理解させ、意欲的に学習に取り組めるよう工夫・改善を行っていきたい。 |
| 理科 | 1 | わからないことは誰かに質問するようにしている（②）という項目で、数値が低かった。提出物の期限を守る（⑤）ことは心がけているようで、学習に対する意欲は低くない。 |
| | 2 | 授業展開において話し合い活動を増やすなどの工夫をしながら、わからないことを質問しやすいような雰囲気作りを心がけ、教員に対する質問はもちろん、それ以外にも生徒同士の教え合いが活発に行われるようにしたい。 |
| 英語 | 1 | 予習と復習についての項目（質問③④）が低い。概ね評価は高いが、英語の授業が自分にとって役立つと考えている生徒が少ないようである。 |
| | 2 | 授業展開やワークシートの内容を工夫して、予習と復習が定着するようになっていく必要がある。授業が自分にとって有益であると感じてもらうためにも、教科書はもちろん生徒にとって身近な例を教材として、ICTを積極的に活用しながら授業を行う必要がある。 |
| 保体 | 1 | 昨年度と比較し、全体的に数値が下回った。「自ら進んで運動に親しむ能力と資質を高め」といった教科目標について再考し、生徒の意欲に繋がる授業展開を心がけたい。 |
| | 2 | 幼少から外あそびや運動が行える環境にない地域である。毎時間、導入部分において基礎体力の向上を目指した補強運動を実施し、引き続き技能向上に向けて工夫した取り組みをしていきたい。 |
| 家庭 | 1 | 選択科目が多いこともあり、授業中の取り組みはおおむね良いと読み取れるが、予習復習が十分でないものが多い。また、視覚教材の活用について課題があると思われる。 |
| | 2 | 予習復習を兼ねた課題を設定する。ビデオ視聴など視覚教材を活用する。実態に合わせた学習内容を設定し、実生活での再現性を高める。 |
| 芸術 | 1 | 疑問点を質問する時間をあまり設けることができなかった。レポート未提出については、前期末で大幅に減点したため、後期では改善された。 |
| | 2 | 机間巡視の段階で、疑問点を質問しやすいよう働きかける。レポート提出については、今回の成果を受け、今後も厳格に評価する。 |
| 商業 | 1 | 昨年度の数値と比較すると、多くの項目で学習意欲が上向いてきている結果になった。検定試験上級合格者も昨年度より増加したことなどは、その要因の1つとなっているように感じる。 |
| | 2 | 3年生は進路決定の前と後で学習意欲の差に開きが出てしまいがちになるが、科目の特性である検定取得への意欲を持続させ、上級合格者をより増やせるよう生徒へのはたらきかけを行いたい。 |